



ハ戸★トピックス

ハ戸地方に春を呼ぶ 民族芸能「えんぶり」

国の重要無形民俗文化財に指定されているえんぶりは、その年の豊作を祈願する舞で、太夫と呼ばれる舞手が馬の頭をかたどった華やかな烏帽子をかぶり、頭を大きく振る独特の舞が特徴です。子どもたちのかわいらしい祝福芸も見どころの一つ。

期間中は、八戸市中心街での一斉揃りや市庁前広場での一般公開など、市内各地で公演が催されます。

※新型コロナウイルスの感染状況により中止・変更する場合があります
▶開催期間…2月17日(木)から20日(日)
☎V I S I Tはちのへ ☎0178-70-1110



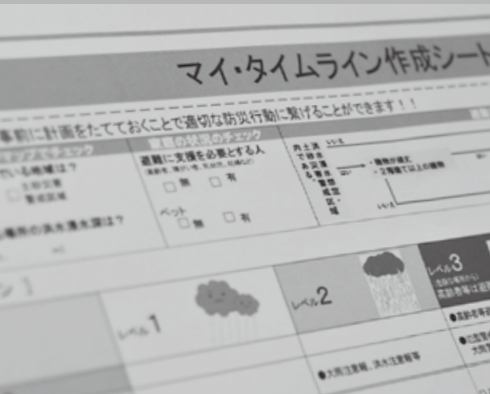
Information

マイ・タイムラインを つくりましょう

マイ・タイムラインとは、台風などの風水害に備え、自分や家族の取る避難行動を時系列的に整理した計画です。

災害はいつ起こるかわかりません。「自分の命は自分で守る」ことを意識し、日頃からハザードマップなどで危険個所を確認して、いざという時のために備えましょう。

市HPに「マイ・タイムライン作成シート」を掲載しました。ぜひ活用ください。
☎消防防災課 ☎52-2173

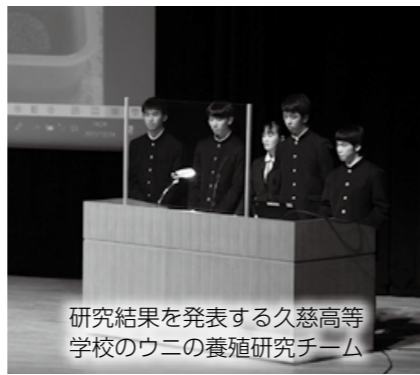


海のことをもっと知ろう

NEWS 第73回海洋教育フォーラム、令和3年度久慈湾総合開発促進協議会講演会

令和3年12月24日アンバーホール大ホールで第73回海洋教育フォーラム(公益社団法人日本船舶海洋工学学会・久慈湾総合開発促進協議会主催)が行われ、市内高校生や関係者ら324人が参加。
市内高校生が海に関わった発表として、久慈高等学校2年の「ウニの養殖研究チーム」は寒天を使ったウニの養殖、「再生可能エネルギー研究チーム」は、洋上風力発電を利用した久慈市のSDGs達成について、日本でも実績がない中で調査。

久慈東高等学校3年の「野菜ウニ研究チーム」は、ウニの餌に白菜やズッキーニなどの野菜を選び養殖。「ダイナミックンギンポ研究チーム」は、先輩から受け継いだテーマにチャレンジし、扱いにくい魚の調理法に挑むなど、それぞれの考察を深め発表しました。続いて経済産業省資源エネルギー庁風力政策室の小林寛室長補佐が、洋上風力発電をテーマに講演。高校生の発表内容を交えながら、洋上風力産業ビジョンや、開発が進んでいる欧州の洋上風力発電技術の発達を解説。脱炭素の取り組みの重要性を訴えました。



研究結果を発表する久慈高等学校のウニの養殖研究チーム

三陸沿岸道路と国道45号に津波避難階段を設置

INFO 閩三陸国道事務所 ☎0193-71-1715



上/②新井田の津波避難階段
下/⑤~⑦は緊急時プラスチックカバーを破り進入してください

三陸国道事務所は、津波などの災害時に、高台の道路に避難できる津波避難階段やスロープを設置しました。
新井田地区内の久慈インターチェンジ付近には、常時開放している津波避難階段を4カ所(図①~④)設置。三陸沿岸道路と立体交差する市道から、国道45号の歩道へ通行できます。(図①は3月に通行可能となる予定です)

長内町地区内の長内トンネル付近には、三陸沿岸道路につながるスロープ1カ所(図⑤)と避難階段2カ所(図⑥⑦)を設置。自動車専用道路のため、図⑤~⑦の入り口には緊急時以外の立ち入りを禁止する鍵がかけられています。
緊急時には、扉のプラスチックカバーを破り内側のレバーを回して進入し、高台へ一時的に避難できます。

新たな気持ちで防災意識を高める

NEWS 令和4年久慈市消防出初式

1月3日、アンバーホール大ホールで久慈市消防出初式を2年ぶりに開催し、消防団員ら550人が出席し、消防功労者の表彰や市中心街での分列行進などを行いました。受賞者は次の通りです。(敬称略・氏名の数字は分団名)
■市長功労章
①谷藤照哲 ②中塚匡志 ③二子與志博 ④中野祐一 ⑤大久保登 ⑦宇名澤裕栄 ⑧浅水豊治 ⑨小袖松助 ⑩仲村正和 ⑪清水川洋 ⑫黒澤正二 ⑬柳久保一幸 ⑭二ツ神一洋
■団長功労章
本 田高厚子 ①前田孝二 ②中平進 ③諏訪誠 ④野場孝司 ⑤鹿糠仁志 ⑥馬内利光 ⑦板谷徳一郎 ⑧桑田岩雄 ⑨津内口光雄 ⑩立花清一 ⑪城内秀幸 ⑫二ツ神力志 ⑬近藤茂明 ⑭清水畑健 ⑮大



分列行進する団員ら

消防団員を募集

市では消防団員を募集しています。地域の安全・安心を守るために、ご協力をお願いします。
☎消防防災課 ☎52-2173

■無火災竿頭(5年以上) 10年 第20分団 8年 第18分団 5年 第2分団

さらなる連携を深めて

NEWS 明治安田生命保険相互会社と包括的連携協定



協定書を掲げる遠藤市長と横山盛岡支社長(左)

市と明治安田生命保険相互会社は令和3年12月23日、包括連携協定締結式を開催。遠藤市長、横山幸司盛岡支社長が協定書に署名し、今後の協

力を誓いました。横山支社長は「地域と企業が連携し、持続的な社会を実現させたい」と力を込めました。
同社からは、これまでも健康測定会の開催、イベントのボランティア活動などで協力を頂いており、更なる相互連携と協働を推進するため協定を締結。今後は①高齢者・健康づくり支援 ②結婚・出産・子育て支援 ③産業・観光振興支援 ④地域経済の自立支援の4項目について、さまざまな事業に取り組みます。

農業の新たな取り組み

NEWS 土地改良事業地区営農推進功労者表彰

令和3年12月15日に仙台市で東北農政局土地改良事業地区営農推進功労者表彰式が仙台で行われ、「農事組合法人宇部川ファーム」が東北農政局長賞を受賞しました。
同法人は、東日本大震災の津波被災農地の復旧や、ほ場整備事業を受け、平成26年12月5日に設立。農地中間管理事業を活用し農地を借り受け集約・集積。稲作の生産コストの低減や短角牛に与える濃厚飼料などの製造を行い、耕畜連携を図ってきました。



賞状を掲げる鹿糠沢津嘉代表理事(左)と外館保人副理事(右)

また、水稻育苗後のハウスでは、ミニトマト栽培を導入障がい者の就業機会の創出を行った農福連携や高校生の農作業研修も実施。未来の担い手育成にも力を入れていることも評価されました。